

中之条町誌正誤表

第一卷

頁	段行	誤	正
二〇	表上	山田 武磨	山田 武磨
二六	〇	横屋	横尾
二〇	二	大霜	大下
二〇	二	一四七〇	八一〇一八二三
二七	二	屋根	尾根
二六	三	勃落	没落
二六	三	くるも	しるも
二六	七	心も清し…願う	心は清く…頼
二〇	二	命…みてり	命…みてら
二〇	三	岩下	矢倉
二〇	三	我身は	我身に
二〇	四	江原	郷原
二〇	四	(江原寺)	削除
二〇	六	奥室	奥堂
二〇	六	くりき…くりき…	くらき…くらき…月
二〇	六	神仏みならび	神仏立ならび
二〇	八	にこりしな	にこらしな
二〇	六	古へとけて祭願の	すへとげて思ふ願の
二〇	六	瀬手	潮平
二〇	六	定岩寺	定光寺

二二	建仁	建長
二九	八郎次	八郎実次
二七	大霜	大下
二五	表	表
二五	一番隊 1	一番隊 1
二五	15	2
二五	16	13
二五	16	17
二五	計	計
二五	34	66
二七	一〇〇軒	九〇軒
二八	一六〇一	一五九八
二八	劍持四郎	綿貫重郎
二八	二世紀	三世紀
二八	一八〇余	二八〇余
二八	將軍軍	將軍
二八	五	六
二八	三・四・二・七	三・四・二・七
二八	川崎藤七	川嶋藤七
二八	代官所村	代官所
二八	原岩本…天領・清	清水御削除
二八	水脚	清水御削除
二八	市城―(吉井藩)	市城―(上里見)
二八	平	(市城と同じ)
二八	いりんだ	いりくんだ
二八	榜示杭	榜示杭
二八	第二章	第二章
二八	二月八日	十一月八日

六三	七	新巻―岩井 中之条町	岩井―中之条町 植栗―伊勢町	八五	八	割田三重郎	割田重三郎
〃	〃	三力所	四力所	〃	二	小林炙次郎	小林炙次郎
六六	〇	寄道	寄進	〃	〇	綿貫形治郎	綿貫形次郎
六六	六	教学	教学	〃	〃	〃	〃
六三	九	禎蔵	禎蔵	八六	二	〃	〃
六五	〇	二十類人	二十数人	八三	三	山田留吉	山口留吉
六六	二	春湖	春潮	六九	三	六年十月	六年三月
六三	七	二男	五男	六六	三	武田	武井
六四	九	都合	都会	六五	〇	卒業	中退
六三	一	狩野	鹿野	六七	九	蔵蔵	蔵蔵
六四	一	司会	司令	七一	五	七十八歳	六十八歳
七〇	三	絵督	総督	〃	六	綿貫形治郎	綿貫形次郎
七二	〇	行政	行政	〃	七	七年	九年
七〇	一	二十大区戸長	二十大区区长	〃	九	駒次郎	駒太郎
七二	〃	〃	〃	〃	〃	茨城県	千葉館山市
七〇	〃	〃	〃	〃	〃	小坂橋謙二郎	小坂橋謙三郎
七四	〃	河波国	阿波国	七四	〇	都築伊藤	都築伊藤太
七五	三	南牧―市城	南牧	六二	〇	婿入りした	四才で養嗣子となる
七六	五	四月五日	四月・五月	〃	二	峩堂	峩琴
〃	〃	森岡(文六)	(文六)削除	〇〇	七	吾妻高等学校	吾妻高等小学校
七四	二	年末ノ	年来ノ	〇四	九	〃	〃
七七	七	前掲生産会社	前橋生産会社	〇六	〇	改進等	改進等
八二	三	五六七頁写真	七四五頁写真	〇五	三	現出支出	現金支出
八〇	七	小林炙次郎	小林炙次郎	〇三	三	綿貫形治郎	綿貫形次郎

七〇六	三	高橋保治	高橋みつゝ	七〇六	三	本多たみ	本多 栄
七〇七	一	篠原くら	篠原賢治	七〇三	七	平形弘	平形いま
七〇八	二	高橋保治	高橋みつゝの	七〇三	九	伊能きか	伊能惣三
七〇九	二	篠原のぶ	篠原良作	七〇三	三	吉岡弥生	吉岡美代
七一〇	三	福田宗次郎	福田宗二郎	七〇三	四	劍持正吉	劍持正吾
七一一	七	田村りき	田村誠一	七〇三	七	五反田二三四	平
七一二	九	蟻川銀太郎	蟻川ふみ	七〇三	〃	清水シモ	清水量兵
七一三	一〇	染川孫平	染川武重	七〇三	〇	劍持義雄	劍持まつい
七一四	二	福原えい	福原ともゑ	七〇三	四	角田森吉	角田りう
七一五	三	宮崎佐市郎	宮崎はる	七〇三	七	劍持寅蔵	劍持みどり
七一六	八	陸軍中尉	陸軍大尉	七〇三	三	関 忠吉	関 益治
七一七	九	陸軍伍長	陸軍軍曹	七〇三	九	割田達雄	割田 一
七一八	〃	湯本まさ	永井とき	七〇三	八	唐沢かん	唐沢昭美
七一九	〃	中沢きみ	中沢正美	七〇三	一	蜂須賀栄吉	蜂須賀兵衛
七二〇	二	外丸成昌	外丸とう	七〇三	三	後藤たき	後藤敦重
七二一	三	飯塚安二郎	飯塚安次郎	七〇三	六	宮崎たね	宮崎巳代松
七二二	四	山崎時雄	山崎得雄	七〇三	九	蜂須賀栄吉	蜂須賀兵衛
七二三	七	生巢辰雄	生須辰雄	七〇三	二	関 桃介	関 はる
七二四	一〇	山崎甚平	山崎真一	七〇三	三	角田あさ	角田正幸
七二五	三	山崎真一	山崎甚平	七〇三	七	小池もと	小池 完
七二六	八	富岡市富岡一六六	蟻川一、八七七	七〇三	二	小池みね	小池千之助
七二七	〃	〃	〃	七〇三	五	小池庄三郎	小池邦江
七二八	七	高崎陸軍病院	高崎衛戍病院	七〇三	九	林 うめ	林 言夫
七二九	二〇	東京衛成病院	東京衛戍病院	七〇三	二	角田あさ	角田正幸
七三〇	八	陸軍兵長一等卒	陸軍歩兵一等卒	七〇三	三	小林なつ	小林ちよ

六九	伊能浅治郎
九	上原いち
二	湯本長八
三	加納せい
二	川崎銀造
三	海軍一等水兵
二	山田友重郎
一	青柳哲夫
五	小淵勇治
三	畔上善作
六	伊能たね
八	田村よし
九	長谷川かつ子
一〇	上原ジウ
三	田村もり
六	塩野谷光代
一	福島吉雄
四	田村よし
三	村田里子
三	畔上善作
四	伊能浅治郎
三	樋田友重
六	金井 博
五	陸軍兵長
二	上原はつ

伊能あさ	上原保次	湯本のい	加納ミサオ	川崎すて	陸軍兵長	山田ひち	田村ゆり	小淵勇二	畔上春彦	伊能みどり	田村 盛	長谷川西三	田村じう	田村勝次	塩野谷光雄	福島弥八	田村 盛	村田まさ	畔上春彦	伊能あさ	樋田今朝吉	金井ハツミ	陸軍伍長	上原秋紀
------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	-------	------	-------	------	------	-------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	------

七二	小坂橋金三郎
二	海軍軍属
二	江積洋二
五	吉沢準浩
六	輜重兵二等兵
二	不明
七	不詳
七	佐藤福松
八	陸軍少尉
二	加藤昭二
二	金井恒司
三	上原真則
一	田村俊二
二	二〇、一、七
五	木暮よし
六	二〇・一・二七
四	小川鎮治
四	林 マサ子
五	病死
九	篠原のお
二	田村好雄
四	陸軍兵長
八	田村ゆみ
二	川崎むめ

鳥羽てる	陸軍軍属	江積良雄	吉沢弥三郎	陸軍一等兵	戦死	ホシャット燈台	佐藤邦男	陸軍中尉	加藤昭司	金井りよう	上原つる	田村俊治	一九、一〇、二五	木暮たい	一九・二・一〇	小川まつ	林 たま	戦病死	篠原良作	田村きく	陸軍伍長	田村 清	蟻川秀一郎	川崎すて
------	------	------	-------	-------	----	---------	------	------	------	-------	------	------	----------	------	---------	------	------	-----	------	------	------	------	-------	------

二九四	七 一七 六五	〃	〃
三〇一	七	一升樽	一斗樽
三〇二	七	頒布	頒布
三〇三	四	幸原	桑原
三〇九	八	田村一二	田村一三
三一九	第八、二四表	糊桃田、土ノ原	糊桃田、上ノ原
三九一	三	償還期限	償還期限
三九二	三	組合員は一人	組合費は一人
三九三	三	飲米	飯米
〃	三	紙桁行	丁桁橋
二四九	表三段	直田	真田
二四五	二	創土	創土
二四九	二	緑頓	緑邨
二五一	下	香転	香転
二四三	四	午後十一時	午前十一時
二四四	四	円	厘
二四五	表		
二四六	表計	145,930	145,903
二四九	(五反田)	群馬県	群馬郡
二五〇	三		

第二卷

頁	段行	誤	正
三三	写真説明	小林(念)村長期の役場吏員	小林(念)一科長と役場職員
三六	上	九年	十年
三九	上	大沢豆宏	大沢豆重
四二	上	六代目	十六代目
四九	上	敵時	敵将
五七	上	近來	近衛
五八	上	浮舟モラツテ	浮舟ヲモツテ
五九	上	聞かされたが	聞かれたが
五九	上	八月十五日の	八月十五日、
六三	上	山、田小隊長	山田、小隊長
六三	上	保育米	保育米
〃	下	以下足袋	地下足袋
六七	表	開会	閉会
六九	表	出来る。野草を	出来る野草を
六九	表	さとわれ	さとされ
七二	表	支那	支那
七二	表	上毛忠鬼録	上毛忠魂録
八二	表	明三八・一〇・六	明三七・九・一六

二〇〇	一平村	綿貫形治郎	大塚村	綿貫形次郎
二〇三	表一	綿貫形治郎	綿貫形次郎	綿貫形次郎
二〇四	一	綿貫形治郎	綿貫形次郎	綿貫形次郎
二〇五	五	綿貫形治郎	綿貫形次郎	綿貫形次郎
二〇六	六	小管形次郎	小管形次郎	小管形次郎
二〇七	二	平均より額	平均額より	平均額より
二〇八	三	山葵	山葵	山葵
二〇九	三	校数	校数	校数
二一〇	六	唐沢登米蔵	唐沢登米蔵	唐沢登米蔵
二一一	二	三行	四行	四行
二一二	二	ヤマガシ	ヤマガシ	ヤマガシ
二一三	二	劍持雄次	劍持雄治	劍持雄治
二一四	二	四一・三五円	四、一三五円	四、一三五円
二一五	表	綿貫形治郎	綿貫形次郎	綿貫形次郎
二一六	表	劍持九平	劍持久平	劍持久平
二一七	表	高沢武一郎	富沢武一郎	富沢武一郎
二一八	表	吉田停一郎	吉田亭一郎	吉田亭一郎
二一九	表	都道	郡道	郡道
二二〇	表	綿貫其次郎・小林定志	綿貫形次郎・小林定	綿貫形次郎・小林定
二二一	表	神名橋	神奈橋	神奈橋
二二二	表	柳田河三郎	柳田阿三郎	柳田阿三郎
二二三	表	錫屋	鍋屋	鍋屋
二二四	表	関善	積善	積善
二二五	表	沢渡川温泉	沢渡温泉	沢渡温泉
二二六	表	積善	積善	積善

二〇〇	表	原湯	川原湯
二〇一	下	太田村内新巻と小泉	東村新巻と太田村小泉
二〇二	一	香転	香転
二〇三	一・二	こみみの	こみみの
二〇四	一	石葉師	石葉師
二〇五	一	うすかがみ	うすかすみ
二〇六	一	服葉のやりに	服葉のやうに
二〇七	一	覇王	覇王
二〇八	一	舞子	舞う
二〇九	一	役所	役者
二一〇	一	範圍	範圍
二一一	一	幸原良一	桑原良一
二一二	一	教員	教育
二一三	一	999.2	99.92
二一四	一	998.3	98.83
二一五	一	補習料	補習料
二一六	一	離モ	雖モ
二一七	一	筆筆	筆算
二一八	一	下渡金額年	下渡金額年
二一九	一	な是正	が是正
二二〇	一	義損金	義損金

100	上	中之条町三三二	二
〃		篠原一夫	七
109	上	松本倅市郎	二
109	上	小林 学	三
109	上	福島興一	二
109	上	本多たみ	五
〃		田村有一	八
〃		小林昭衛	二
〃		本多たみ	七
113	下	一九・一〇・二五	二
116		義務人夫と	二
117		郷井村	一
117		不動産	六
119		規約遵守	二
120		物質	二
127		明治の維持	五
127		伊賀守全道	五
128		藤原政貢	七
128		作料	三
128		小野子村人主	三〇
128		京都	七
128		組し	二
129		鉄砲鍛冶	五
〃		水井隆助	八
100		浅草部川町	五
		西中之条	二
		篠原正一	七
		松本かつの	二
		小林貞夫	三
		福島興一	二
		本多 栄	五
		田村富司	八
		小林たけ	二
		本多 栄	七
		一九・九・一	二
		義務人夫と	二
		郷井村	一
		不動産	六
		規約遵守	二
		物質	二
		明治の維新	五
		伊賀守全道	五
		藤原政吉	七
		作料	三
		小野子村名主	三〇
		京都	七
		但し	二
		鉄砲鍛冶	五
		水井隆助	八
		浅草阿都川町	五

100	上	田代若狭守	六
〃		多年多難	六
101	上	拔を	八
〃	下	鉄砲鍛冶	八
〃	下	とも江口	三
107	下	天保七年	五
107	下	福田宗禎(46)	九
107	下	宗禎四十二歳	七
108		柳田楨蔵	一
113	下	天保八・二〇・九	二
113	下	高橋景作(38)	四
117		相位	五
117	上	明治二年春	六
126	上	八月〜九月	二
126	上	新井元左衛門	二〇
127	上	相切し	三
130	下	北二十六大区	六
130	下	修学講社	九
131		第二十六区长	一
134		小林正太郎	三
137		四代若狭守	六
〃		多事多難	六
〃		拔を	八
〃		鉄砲鍛冶	八
〃		とも江に	三
〃		天保二年	五
〃		福田宗禎(41)	九
〃		宗禎四十一歳	七
〃		柳田楨蔵	一
〃		天保八・一〇・八	二
〃		高橋景作(33)	四
〃		相伝	五
〃		明治元年七月	六
〃		四月〜九月	二
〃		新井三左衛門	二〇
〃		相初め候	三
〃		北二十六大区	六
〃		修成講社	九
〃		北第二十六区长	一
〃		小林正太郎	三

第三卷

頁	段行	誤	正
三六	七	字栃瀬	字七日市
〃	〃	この地	栃瀬
三一	上	平	大塚
〃	上	伊参村岩本	名久田村大塚
〃	上	大塚旧姓富沢	平旧姓吉田
三三	七	田村きぬい	田村きぬい
三五	三	劔持雄司	劔持雄治
三六	三	四月十日	五月十日
〃	三	四十六年	四十七年
〃	三	五十年	五十一年
三九	(2)の表下段	固定資産…会費	固定資産…会委員
四〇	表最下段	綿貫氏	綿貫氏
四一	四	竹本政吉	竹本政吉
四二	上	そして今…残され	削除
〃	上	ている	削除
四三	上	この家を…例であ	削除
四四	上	ろう	

43.1201.02.04.08.37.02.29.11.13